

行雲流水

No.226 令和4年6月17日発行

さりげない親切

校長 寒河江 正人

6月10日、先週の金曜日のこと、
神町北のサイトウさんという方からお電話を頂戴しました。

「**はて、何だろうな。**」と電話をとると、こういうお話でありました。

男性の声で、

「**実は、昨日、うちの母がヤマザワに買い物に行きました。**」

「**買ったものをシルバーカーの上にのせて進んでいたところ、
袋がやぶけて散らぼってしまったんです。**」

「**すると、そこに通りかかった神町中学校の女子生徒さんが拾い集めてくれました。**」

「**それだけでなく、袋がやぶけてしまったので、わざわざ自宅まで運んでくれたんです。**」

「**それなのに、その生徒さんのお名前を聞くのを忘れてしまいました。**」

「**本当にありがたくて、ありがたくて……感謝申し上げます。**」

「**その生徒さんに直接お礼を申し上げるべきところですが……**」

「**母が校長先生にそのことを伝えて欲しいというものですから、電話したところですよ。**」

とのことでした。

私は

「**ご丁寧にお電話をいただきまして、ありがとうございます。**」

「**早速、全校生徒・全教職員に紹介いたします。**」

とお答えし、小山教頭先生から皆さんに放送で紹介してもらいました。

世界に目を移せば、醜く愚かな争いごとは絶えないのですが、

「**Think global, Act local, Be a glocalian.**」

「**陰徳を積む**」

だれも知らないところで「**さりげない温かで親切な行為**」がなされているのです。

きっと、**このおばあちゃんは、温かで幸せな気持ちで包まれたのでしょう。**

**そういうことができる本校の生徒諸君であることを
心から誇りに思います。ありがとうございます。**